

国語

(数学は反対の表紙より始まります)

平成二十三年度入学試験問題

受験上の注意

- 一、監督の指示により、受験する科目の解答用紙を取り出し、受験する科目以外の解答用紙は、試験開始前に回収するのですべて返却して下さい。
- 返却しない場合は、この時間の科目の試験は、すべて無効となります。
- 二、解答用紙に氏名、受験番号(算用数字)を記入し、該当する試験日および受験番号をマークして下さい。記入については解答用紙の注意事項に従って下さい。
- 三、国語の問題は、選択問題があるので、下記の【表】の指示に従い解答して下さい。
- 四、問題冊子の解答番号と解答用紙の番号を間違えないように注意して下さい。
- 五、国語の問題は、二～三十二ページにあるので、試験開始の合図があつたら、まずページ数を確認して下さい。
- 六、受験票は、試験時間中机上の受験番号の下に呈示しておいて下さい。
- 七、質問、その他用件があるときは、手を上げて合図して下さい。
- 八、試験時間中の退場は認めません。
- 九、試験時間は六十分です。
- 十、この問題冊子は持ち帰って下さい。

開始の合図があるまで開かないで下さい

【表】下記の印に従って解答して下さい。

○印・・・必答 △印・・・いずれか一つを解答して下さい	共通問題	一	二	選択問題	三		
		(現代文)	(現代文)		ア(現代文)	イ(古文)	ウ(漢文)
全学部		○	○		△	△	△

一次の文章を読み、後の問に答えなさい。

不確実性の社会における意志決定では、科学的合理性は当然よりどころですし、評価損益も考えます。しかし、それに何かもう一つ、それらだけでは意志決定できないというアルファの部分。それは、「常識」ではないか、という考え方があります。

歴史的にみれば、これほど科学や技術が発達していなかった近代以前までは、専門家はせいぜい政治家と宗教者で、科学的合理性の専門家などいませんでした。<sup>1)</sup> そのような社会の意志決定に活用される知識は「常識」であつたわけです。

<sup>2)</sup> [ ]、二十世紀以降の社会で、科学・技術が発達し、実装化された結果、もつとも重要なものとして「科学的予測」というものが登場してきます。それによって、一時的に常識は排除されて、科学的な予測、合理的な予測、決定論的な予測だけが、意志決定の根拠になるという事態が生まれてきました。そのことが結果的に何を意味したかというところ、テクノクラシズムとでもいふべき<sup>3)</sup> 専門家支配です。

とくに科学の専門家というのは、社会的な事象に対して判断を下すという要求をされたことがなかつたにもかかわらず、そこへ引っぱり出されてきました。そして、専門家の判断こそが正しく最終的な判断であるという認識になっていく。これは政治判断のなかに、いわば建前として取り込まれたという面もありますが、実態としてもそういうことになりました。

それが、不確実性の時代になり、また人間というもつとも不確定な要素をかかえた社会の問題に、専門家だけでは太刀打ちできなくなってきたのです。

二〇〇九年から、日本では裁判員制度がはじまりました。この制度も、今までは司法という特殊な空間のなかで、司法的訓練を受けた専門家だけがすべての意志決定を行ってきたことに対して、果たしてそれによいのかという疑義から生まれたものではないでしょうか。裁判員に求められているのは、法的な知識や経験則ではないということ、はっきりと謳<sup>うた</sup>われています。司法の特別な空間を少し開いて、あえて素人である生活者の常識をそのなかに取り込む可能性はないものか、と考えられた結果だと解釈できると思います。<sup>4)</sup> 裁判員制度をひとつの雛形として、主権者の常識を意志決定に反映させる手だてのひとつになるのではないかと

まり、逆にいえば、常識が復権される、常識を意志決定のなかに参加させる、専門家だけの判断に任せない、ということになります。

科学・技術の問題にかかわる常識の活用ということで、私は大変興味深い例をひとつ知っています。小貝川という利根川の支流があります。栃木県から茨城県を通じて利根川に流れ込んでいる川です。たびたび水害が起こっていますが、今から三十年ぐらい前に大きな氾濫を起こし、家が流され、亡くなった方も何人か出たという水害事件がありました。そのときの被害は「新住民」と呼ばれる、造成開発された宅地に新しく移り住んできた人たちに集中していたといえます。土地の人たちは前々から「あんな所に家を建ててなあ」と心配をしていたそうです。

当時、国土庁におられた下河辺淳さんという方から、私はこの話を伺いました。それ以来、国土庁は宅地造成をするときに、もちろんボーリングとか地質調査とかいろいろな科学的技術的な調査をすることは前提ですが、同時に、「新しい宅地を造成するときには必ずその土地にずっと住んでいる古老にヒアリング調査をなさい」というマニュアルをひとつ、つけ加えたそうです。このマニュアルは、廃止されていなければ現在でも国土交通省のなかに残っているはずですが、

英語ではよくフォーク・ナレッジとかローカル・ナレッジと言われる、その土地に伝わる言い伝えです。一般的・普遍的・決定的な構造のなかで培われてきた科学的合理性だけではないアルファとして、その土地で古くから伝わってきている知識を、科学的にはまだ立証されていないけれども有益な情報のひとつとして活用してよいのではないか——というのが、この教訓の教えるところであったということになります。

話がまたそれますが、ジャンバティスト・ヴィーコという近代イタリアの哲学者がいます。日本ではあまり知られていない哲学者ですが、『新知識』とでも訳せばいいでしょうか、一七二〇年ぐらいに書かれた書物のなかに、大変面白い言葉があります。彼は、デカルトの哲学が非常に強大な力を持ってヨーロッパの思想界を席卷しているところに教育を受けた人で、こういう表現をしています。

「デカルトのクリティカは、真実のみを重んじることによって真実らしきものをすべてを退ける。これにかわるに、私はかつて古

代ギリシアの哲学者たちが言ったトピカというものを一つのポイントとして提唱したい——「トピカ主義者はしばしば虚偽をとらえてしまうし、クリティカ主義者は真らしいものを取り上げようとはしない。<sup>(9)</sup>」、どちらの欠点もが回避されるように、青年たちは全体的な判断によってこのトピカ主義とクリティカ主義の双方を教えられるべきであると、私は思う。しかし、まずはトピカのトポスを大事にせよと言いたい」

トポスとはもともと「場所」という意味ですが、英語のトピックスの語源でもあるように、その場その場における知識をも指しており、その場に応じた賢慮と雄弁のための「共通感覚」を持つように説いています。もともとアリストテレス以来の共通感覚とは人間の五感である視覚、聴覚、嗅覚、触覚、味覚というそれぞれの感覚器官を通じて入り込んでくるものを、人間はどこかで統一的に、共通的（コモン）に取り上げるということを指し、コモンセンス＝常識という言葉と対応していますから、ここでの「共通感覚」というのは<sup>(10)</sup>両方の意味を持たせて使われていると私は読みました。常識のなかの賢慮を磨き共通感覚を持って総合的に判断できるようになれば、とヴィーコは言っているのだと思います。

（村上陽一郎『人間にとって科学とは何か』）

問一 傍線部分(1)のように「常識」が活用された理由として、最も適当な説明を一つ選び、マークしなさい。解答番号は

1。

- ① 政治家と宗教者は専門家ではあっても世間離れしていて、社会的な意志決定に関心を持たなかったから
- ② 科学的合理性を担保する余裕が社会になく、評価損益を考慮することが「常識」であったから
- ③ 科学や技術が発達していなかった近代以前では、専門家に意志決定を委ねるのは恐れ多い行いだつたから
- ④ 科学の専門家はおらず、人びとが共有できたのは、「常識」という知識の集積のみであったから
- ⑤ 政治と宗教の対立は戦争までも引き起こし、人びとはこれと距離をおくことを「常識」としてきたから

問二 空欄(2)および(9)に入る語として適当なものを、次の語群からそれぞれ一つ選び、マークしなさい。解答番号は(2) 2、

(9) 3。

- ① たとえば      ② したがって      ③ または      ④ あるいは      ⑤ いわんや      ⑥ ところが

問三 傍線部分(3)「専門家支配」とはいかなる事態を指しているか。その説明として最も適当なものを一つ選び、マークしなさい。

い。解答番号は 4。

- ① 専門家の判断こそが正しく、最終的な判断であるという認識になること  
② 二十世紀以降の社会で、科学・技術が発達し、実装化されること  
③ 科学的な予測、合理的な予測、決定論的な予測だけが、一時的に排除されること  
④ 科学の専門家が、社会的な事象に対して判断を下すという要求をされたこと  
⑤ 政治判断のなかに、建前として取り込まれるという、専門家が専門家を支配すること

問四 傍線部分(4)からは、筆者のどのような考えが読みとれるか。最も適当なものを一つ選び、マークしなさい。解答番号は

5。

- ① 裁判員制度はひとつの雛形にすぎないのだから、常識を意志決定のなかに参加させることなど無謀でやめたほうがよい  
② 司法という特別な空間に、あえて素人である生活者の常識を取り込むことは、可能性としても考えられない  
③ 司法的訓練を受けた専門家も、社会のその他の領域の問題については素人であり、常識をたよりにするほかはない  
④ 法的な知識や経験則を意志決定に反映させることは、司法の空間における常識であり疑問の余地はない  
⑤ 常識を意志決定のなかに参加させることを、司法の空間のみにとどめずに、他の領域にも積極的に適用すべきである

問五 傍線部分(5)の発言は、土地の人のどのような認識を反映したのか。最も適当な説明を一つ選び、マークしなさい。解答

番号は 6。

- ① 「新住民」は神聖な場所にもかまわず家を建ててしまい、けしからんことだ
- ② そこは家を建てるにはふさわしくない場所であり、いずれ被害が出るぞ
- ③ 勤め人が都心から遠く離れた郊外に家を建てても、通いきれぬのだろうか
- ④ ようやく家を買えた人たちには、水害が出やすい場所だとは伝えないほうが親切だ
- ⑤ 私たちの祖先もその昔、「新住民」として住みついた時期があったのかと懐かしい

問六 傍線部分(6)の項目がマニュアルに加えられた理由として、最も適当なものを一つ選び、マークしなさい。解答番号は

7。

- ① 調査手法の流行が、数学的な処理による量的調査から、必ずしも数値データによらない質的調査に移行しつつあるから
- ② 行政として地元の人々の声を聞く姿勢を見せることは、開発反対の声を封じ込めるためにも有効な手段であるから
- ③ 国土庁が、土地の古老の言葉の中に、科学的合理性とは異なる有益な知識があることを認めたから
- ④ ヒアリング調査は実際には以前から実施していたのだが、マニュアルとして明文化するきっかけがなかったから
- ⑤ 国土庁から国土交通省へと引き継ぎをすることになった時に、マニュアルの存在意義を高めたかったから

問七 傍線部分(7)の内容は何か。最も適当なものを一つ選び、マークしなさい。解答番号は 。

- ① 異常気象もあり水害も大規模化しているので、とにかく川のそばに家を建ててはいけない
- ② 英語圏でも日本でも、古くからの言い伝えというものはありがたいもので、疑ったりしてはいけない
- ③ 一般的・普遍的・決定論的な構造のなかで培われてきた科学的合理性は、やはり唯一の有益な知識である
- ④ 科学的にはまだ立証されていなくても、有益な情報のひとつとして活用しうる知識というものがある
- ⑤ フォーク・ナレッジとかローカル・ナレッジなどと言い換えたところで、古い考え方には限界がある

問八 傍線部分(8)について、筆者がこのヴィーコの言葉を紹介した意図はどこにあるか。その説明として最も適当なものを一つ選び、マークしなさい。解答番号は 。

- ① 大哲学者デカルトの方法論であることを示すことによって、権威づけをするため
- ② 疑わしいものをすべて排除することは、失うものも多いということを警告するため
- ③ 日本ではあまり知られていない哲学者の本を読んでいることを、自慢するため
- ④ 真実と真実らしきものとの違いに関するデカルトの議論を端折って話を進めるため
- ⑤ 真理はその時代における勝ち組の側にあるとはかぎらないことを、例証するため

問九 傍線部分(10)の指す内容のうち、一つを常識とすると、残りの一つとして最も適当なものを一つ選び、マークしなさい。解

答番号は 。

- ① コモンセンス
- ② 人間の五感である視覚、聴覚、嗅覚、触覚、味覚
- ③ その場その場における知識
- ④ 五感を統一的、共通的に取り上げること
- ⑤ その場に応じた賢慮と雄弁

問十 本文中にある「不確実性」という表現の解釈として最も適当なものを一つ選び、マークしなさい。解答番号は 。

- ① 意志決定において、何をよりどころにしたらよいかわかりにくい状態のこと
- ② 科学的合理性にもとづき意志決定する場合でさえ、絶対確実と保証はできないこと
- ③ 人間の心というブラックボックスとの関係は不可避なので、社会の問題に絶対はない
- ④ 素人の生活者も、本気を出したら専門家にも太刀打ちできない力を発揮する可能性があること
- ⑤ 評価損益は帳簿上のもので最終的な結果ではないのと同様に、歴史は顧みないと評価できない

問十一 つぎの文のうち、本文の記述と合致するものを二つ選び、マークしなさい。解答番号は  (一行に二つマークすること)。

- ① 裁判員制度は常識の復権の呼び水となり、専門家の不当な支配から人びとを解放する
- ② 社会の意志決定において常識が排除されたのは、一時的なことであった
- ③ 総合的な判断とは、場当たり的な対応を後からふり返った時に名付けるものである
- ④ 裁判員制度は常識にもとづく意志決定から、法的な知識や経験則の優位性を擁護する
- ⑤ 総合的な判断とは、常識に根ざしつつもその場の状況にもよく応じるものである
- ⑥ 社会の意志決定において常識がないがしろにされたことは、一度もない

問十二 本文のテーマをひとことで表現するならば、どれがふさわしいか。最も適当なものを一つ選び、マークしなさい。解答番号は 。

- ① ヴィーコとデカルト
- ② 科学的合理性
- ③ 常識のなかの賢慮
- ④ 不確実性と常識
- ⑤ 専門家支配

二 次の文章では、臓器移植をアンパンマンの物語に重ね合わせて説明している。アンパンマンは、やなせたかしの絵本を原作にアニメ化され放映された。アニメの物語の筋は、おおむね以下のようなパターンである。顔がアンパンでできたアンパンマンは、おなかをすかせた子どもたちに自分の顔の一部を食べさせるのだが、そんなとき宿敵のバイキンマンが現れ、アンパンマンをやっつけようとする。アンパンマンはバイキンマンと闘うが、顔が欠けて力が出ないため、窮地に陥る。顔が欠けたときだけでなく、汚れていたり濡れているときも同様に力が出ない。そんなときは決まってアンパンマンの生みの親であるジャムおじさんが、パン工場からできたのアンパンの新しい顔を届けてくれる。新しい顔は古い顔に替わりアンパンマンの首におさまり、力を得たアンパンマンはバイキンマンをやっつける。

次の文章を読み、後の問に答えなさい。

アニメのアンパンマンもフランケンシュタイン同様、臓器移植の物語とみなすことができる。アンパンマンはフランケンシュタインの怪物のようにバズル人間ではない。<sup>(注1)</sup>しかし機能を果たさなくなった身体の一部は、機能を果たす新しいものに取り替えられ、よいという身体観がそこにはある。そのような身体観はまさに、臓器移植を支える思想そのものなのだ。

臓器移植外科は英語では spare-part surgery <sup>(注2)</sup> (特にイギリスの表現) ともいう。実際の移植手術でも文字どおり部品として取り替えられた臓器は焼却されるか廃棄され、その行方は不明である、アンパンマンの古い顔と同様に。そこには身体の一部を取り替えても、その人はその人であり続けるという人格の連続性が見られる、あるいは人格の同一性 (アイデンティティ) は変わらないという思想が潜んでいる。その一方で、<sup>(注2)</sup> この思想では人格は取り替えがきかないと想定されている。

アンパンマンを臓器移植の物語とみなすことができる。それはアンパンマンをレシピアント、つまり臓器の受取人と想定したからであった。しかし、アンパンマンは同時にドナー、つまり提供者でもあり、こちらの方が本<sup>(注3)</sup> 当の正義は傷つくことなしには行えないという原作者の意図により沿ったものといえる。ドナーとしてのアンパンマンは、原作の絵本に、よりはっきりと見て取ることができる。

絵本のアンパンマンでは、顔の使い捨ては描かれていない。そこでは顔が少しずつ欠けていきしまいには顔がなくなつたまま、飛行を続けるのだ。新しい顔は絵本の終わりに与えられる。だから絵本では、アンパンマンは、アニメのように古い顔を新しいのに取り替えてもらう人ではなく、何よりも顔を「食べ物」として与える人なのである。

体の一部を食糧として与えるその姿から、アンパンマンを中世の絵画に描かれたイエス・キリストのイメージに重ね合わせることもできるだろう。磔にされたイエスが傷口から吹き出した自分の血を飲み物として聖杯に入れている。自らの死を賭けながら、自らの一部を「生きる糧」として与える。このようなキリスト像は、西洋中世のキリスト教とジエンダーを研究するキャロライン・バイナムによると、中世の絵画の中でしばしば登場しており、赤子に乳を含ませる聖母マリアのイメージに重ね合わされていた。キリストは母なる存在でもあったのだ。このイメージをアンパンマンに読み解くことも可能だろう。キリスト同様、アンパンマンも自らの体の一部を食べ物として差し出し、それは顔<sup>5)</sup>食糧が完全になくなるまで行われる。

イエス・キリストが死すべき人であったように、絵本のアンパンマンも、実は死に逝く人である。そもそも顔がすっかりなくなった胴体に新しいアンパンマンの顔をとりにつけるのは、精神分析のフォールト<sup>6)</sup>ダーを連想させないだろうか。精神分析学の父フロイトは、生後一年半の孫（彼の娘の長男）が、手にしたおもちゃなどの小物を部屋の隅やベッドに放り投げるくせがあるのに気づいた。しかもその子は投げるときに興味と満足の表情とともに「いない」（フォールト）を意味する音「オーオーオー」を発した。さらにこの子は、細紐のついた木製の糸巻きをベッドの向こうに放り投げ、糸巻きが姿を消すと「オーオーオー」を言い、それから紐を引っ張って糸巻きをベッドから取り出すと満足げに「いた」（ダー）という言葉で糸巻きを迎えた。

フロイトは孫のこの行為を次のように解釈した。子どもは母親がお出かけして不在になることを逆らわずに受け入れていたが、<sup>6)</sup>自分の手にすることのできるもので、母親の「いないいない」と「いた」を自分で演出したのであり、母の不在という欲動の充足の放棄はそれによって償われたのである。しかしフロイトは、「いないいない」の場面だけが遊技として演じられたことが頻繁にあったのを指摘し、姿を消す動作が姿を現す動作のための不可欠のプロセスとしてだけ解釈されるのは困難であると述べている。そこから彼はさらに考察を進めて、人間には快感を充足させる欲動だけでなく、その対局にある死の欲動も存在すると分析した。

<sup>(8)</sup> 不在の遊戯の上演は、生の不在である死を求める欲動の再現なのである。

この糸巻き同様、アンパンマンも死の象徴なのである。糸巻きや他の小物が「完全に」見えなくなるのと同様、アンパンマンの顔も、絵本では視界から完全に消失しているのである。

臓器のドナーも、生体移植の場合を除けば、死者である。とりわけ心臓、肺、肝臓などの場合、ドナーは「脳死」という新しい人間の死の定義に照らし合わせて「死者」と判定された人たちである。また肝臓や腎臓の生体移植のドナーも、生きていたとはいえ、自らの生命を賭けて臓器提供に踏み切っているのである。彼ら自身も死と無縁ではないのだ。<sup>(9)</sup> ドナーが自らの死と引き替えにあるいは死を賭けてその一部を与え、他者の生命を救うのと同様のことを、アンパンマンも実践しているのである。

(出口顯「臓器は商品か」 問題の作成上、一部を変更した)

(注1) パズル人間 他人から提供された心臓、肺、腎臓、肝臓、脾臓などの臓器を移植された「つきはぎ」だらけの人間を指す

(注2) spare-part surgery 部品交換手術の意味

問一 傍線部分(1)はアニメのアンパンマンの物語のどのようなところから読みとることができるか。最も適当なものを一つ選び、マークしなさい。解答番号は 14。

- ① 力がなくなってしまうアンパンマンの代わりにパン工場からジャムおじさんがやって来ること
- ② 機能的に働くことができなくなってしまったアンパンマンの手足は新しいものに付け替えられること
- ③ 汚れたり濡れたりして力がなくなったアンパンマンの顔は新しい顔に取り替えられること
- ④ アンパンマンが動けなくなったときには、新しいアンパンマンが作り出されて同じように活躍すること
- ⑤ アンパンマンがヒーローの機能を果たせなくなったときには、まったく違うキャラクターが登場すること

問二 傍線部分(2)の内容として最も適当なものを一つ選び、マークしなさい。解答番号は 15。

- ① 身体の一部を取り替えたとしても、その人は同じ人物であるとみなされる
- ② 身体の一部が取り替えられたとしたら、その人は全く別人であるとみなされる
- ③ 身体の一部はその人の人格の連続性を保証するものであって取り替えがきかない
- ④ 身体の一部を取り替えた場合、人格の連続性は大きく損なわれて問題が生じる
- ⑤ 身体の一部が取り替えられるように、人間の人格も容易に取り替え可能である

問三 傍線部分(3)は絵本のアンパンマンの物語のどのようなところに現れているか。最も適当なものを一つ選び、マークしなさい。

い。解答番号は 16。

- ① アンパンマンは身体を機能的に取り替えながら悪と闘い世界に平和をもたらすこと
- ② アンパンマンはいつも自分自身の心の痛みを感じながら敵を倒していること
- ③ アンパンマンは善悪の判断がつかない問題について傷つきながらかかわっていること
- ④ アンパンマンは自己の身体を犠牲にして自分の顔を食べ物として人に与えること
- ⑤ アンパンマンはもはや正義が失われた世界のなかで血を流しながら闘っていること

問四

- 傍線部分(4)について、何が何に重ね合わされるのか。最も適当なものを一つ選び、マークしなさい。解答番号は
- ① 赤子に乳を与える聖母マリアと西洋中世の肖像画でしばしば現れる身体イメージ
  - ② 自分の傷口から出る血を飲み物として与えるキリストと赤子に乳を与える聖母マリア
  - ③ 自分の顔を食べ物として人に与えるアンパンマンと赤子に乳を与える聖母マリア
  - ④ 西洋中世のキリスト教絵画とアニメのアンパンマンのなかでの闘う身体の描かれ方
  - ⑤ 現代日本文化のなかの身体イメージと西洋中世のキリスト教文化に描かれた身体イメージ

17。

問五

傍線部分(5)について、このように解釈できるのはなぜか。最も適当なものを一つ選び、マークしなさい。解答番号は

18。

- ① アンパンマンの古い顔が新しい顔に取り替えられることをアンパンマンの死と再生と解釈した
- ② アンパンマンが敵との闘いに傷ついて体を失ってしまうことをアンパンマンの死と解釈した
- ③ アンパンマンが自分の顔を人に与え続け最後に完全に顔を失うことをアンパンマンの死と解釈した
- ④ アンパンマンが胴体だけになって新しいキャラクターに変身することをアンパンマンの死と解釈した
- ⑤ アンパンマンの顔を食べたものたちがやがて大人になっていくことを死に逝く存在として解釈した

問六 傍線部分(6)とは何を指すか。最も適当なものを一つ選び、マークしなさい。解答番号は 。

- ① アンパンマン
- ② 絵本
- ③ テレビアニメ
- ④ 糸巻き
- ⑤ いないいないばあ

問七 傍線部分(7)の意味として最も適当なものを一つ選び、マークしなさい。解答番号は 。

- ① 母の不在が子どもに死の意味を教えるのであり、子どもは抽象的な死の概念を理解することを通して大人になること
- ② 母の不在という出来事に直面することをきっかけに、子どもは意味のある言葉を話すようになるということ
- ③ 母が出かけてしまった子どもの寂しさは、どんな遊びによっても紛らわすことのできないものであるということ
- ④ 母のお出かけをあきらめきれない子どもは、糸巻きに怒りをぶつけて破壊するというゲームを始めてしまったこと
- ⑤ 母の不在に直面した子どもは、自らが糸巻き遊びの演出者として遊びを作り出すことでストレスを解消したということ

問八 傍線部(8)とはどのようなことか。最も適当なものを一つ選び、マークしなさい。解答番号は 。

- ① 糸巻き遊びで「いない」の場面だけを何度も繰り返して行うこと
- ② 糸巻き遊びで「いた」の場面ばかりを何度も繰り返して行うこと
- ③ 糸巻き遊びで「いない」と「いた」を交互に繰り返して行うこと
- ④ 糸巻き遊びよりも自分が隠れて遊ぶことを子どもが好むということ
- ⑤ 糸巻き遊びは現代には存在せず、失われた過去の遊びであること

問九

- 傍線部(9)の意味として最も適当なものを一つ選び、マークしなさい。解答番号は 。
- ① 生体移植のドナーとなるのは「脳死」と判定された人間だけであること
  - ② 生体移植のドナーとなる場合には、ある程度は死の危険が伴うということ
  - ③ 生体移植のドナーと臓器のドナーは、どちらも「脳死」とはみなされない
  - ④ あらゆる移植が許可されるのは「脳死」と判定された人間に対してだけである
  - ⑤ まず臓器のドナーとならなければ、生体移植のドナーとなることは許されない

問十

- 本文の内容に当てはまるものを二つ選び、マークしなさい。解答番号は  (解答欄一行に二つマークすること)。
- ① アンパンマンの物語の原型は中世キリスト教文学のなかに描かれていたことが分かった
  - ② フロイトの孫は、母の不在時の寂しさを乗り越えることによって言葉を話すようになった
  - ③ アニメのアンパンマンは臓器移植のレシピアントの物語として解釈することができる
  - ④ フランケンシュタインの怪物は、自らの身体を犠牲にして他者のために生きた存在である
  - ⑤ 絵本のアンパンマンは死に逝く存在であり、それは自己の死を賭けた臓器の提供者と重なる
  - ⑥ 臓器移植の思想には、人間のアイデンティティは状況に応じて変化するという思想が含まれる

三ア 次の文章を読み、後の問に答えなさい。

一つ手前の駅から窓の外に目を凝らしていたが、海は結局ちらりとも見えなかった。バブル景気の頃に建てられたマンションの群れが視界を塞いでしまったせいだ。

電車に乗り込んだときから、どうせそうだろうな、と覚悟はしていた。この町に住んでいたのはもう三十年以上も前のことで、板張りの床に塗ったワックスのにおいでむせ返りそうだった電車も、いまはオールステンレスになった。あの頃は天井で首を振る扇風機の風がこつちに回ってくるのが待ち遠しくてしかたなかったのに、最近では、電車に乗るときには必ず『弱冷房車』とドアに書かれた車輻を選ぶようにしている。冷房の風に当たっていると、ときめん腰が痛くなってしまうのだ。

海なんて、見えるはずがない。強がっているのもひねくれているのでもなく、三十年を超える月日の流れを素直に受け容れるつもりだったし、それは簡単にできるだろうとも思っていた。

だが、電車が懐かしい町にさしかかり、やはり海は見えないだと確かめると、むしろに寂しくなった。なにに対してかわからない悔しさも、あった。

腕時計を見た。ほんとうは必要のないしぐさだった。時間はたつぷりある。うんざりするぐらい余っている。先に練り越すことのできない余りだ。夕方までなんとか時間をつぶさなければならぬ。陽が落ちて家に帰ると、妻や子どもになにくぬ顔で「ただいま」を言わなければならぬ。自信はない。電車に乗る前、駅のトイレの鏡に映した顔は、見るからに呆然としていた。鏡の前で無理に頬をゆるめると、いまにも泣きだしそうな顔になってしまった。

それでも——妻はともかく、小学生の子どもたちには、いまはまだ気取られるわけにはいかない。こつちがもつと落ち着いて、理不尽な運命にきちんと向き合うカク悟を定め、話の組み立てや口にする言葉を吟味してから、すべてを打ち明けるつもりだった。駅に近づいて、電車はスピードを落とした。車内アナウンスが懐かしい町の名前を告げる。こうざい。港西。名前どおり港の西側にひらけた町——いまは、たしか「市」に昇格したはずだ。

ドアに向かって歩きだす。吊革から手を離すと、電車の揺れに体を支えきれずによるめいて、転びそうになった。ドアの横の手すりにつかまり、肩で息を継いだ。しっかりとしろよ、と自分を叱り、そして、笑った。

電車を降りる。ホームに立つと、午後の陽光の照り返しに、頭がくらくらした。<sup>(6)</sup>へたり込むように、ホームのベンチに腰を下ろす。体というのはこんなにも素直で<sup>(7)</sup>単ジユンなのか、と自分でも少しあきれた。昨日までならそんなことはなかった。明日からは、医者と言葉に導かれるように、三カ月——九十日分の日割り計算をするペースで体が弱っていくのだろうか。

蟬の声が一筋、すぐ近くで聞こえた。ホームの柱にニイニイゼミが留まっていた。夏の終わりの蟬だ。この蟬も、おそらくあと数えるほどしか命は残されていないだろう。

蟬は七年間を土の中で過ごし、成虫になって地上に出ると、ほんの半月ほどで死ぬ——子どもの頃に本で読んだ話が、いま、あらためて頭上<sup>(8)</sup>に重くのしかかってくる。土の中で生きている時期を「幼虫」と呼ぶからいけないんじゃないか、蟬はそもそも土の中の生き物であって、地上に出てきてからの姿は、「成虫」ではなく、「死装束」だと思えばきではないのか、だとすればわずか半月の命を悲しむことはない、蟬はすでに土の中で充分に生きたのだ、地上に出て、羽が生えたあとは、「晩年」にすぎないのだ……。

巡らせた思いを、屁理屈だよな、と苦笑交じりに切り捨てた。

立ち上がる。鈍痛のする腰に手をあてる。腰の痛みは冷房のせいではなかった。ときどき襲ってくる吐き気や食欲不振も、夏バテなどではなかった。それを知ったときには、もう、すべてが手遅れになっていた。

跨線橋の階段を、手すりにつかまって、ゆっくりと上る。そういえば梅雨に入った頃から、すぐに息切れがするようになっていた。年のせいだと笑っていた。四十二歳なんてもうおじさんなんだもんなあ、とスポーツクラブに入会することも考えていた。いま振り返ると、のんきだった自分が情けなく、腹立たしく、そしてなによりせつなくて、<sup>(9)</sup>いじらしい。

階段を上りきると一息ついて、ネクタイをはずし、背広を脱いで肘に掛けた。午後から年休を取る、と会社に連絡を入れたきり、携帯電話の電源は切つてある。仕事の引き継ぎ、休職中の事務手続き、生命保険の確認……しておかなければならないことはいく

らでもあり、残された時間<sup>10)</sup>はあまりにも少なかったが、今日はなにも考えなくなかった。

初乗り運賃の切符を精算して、改札を抜けた。海側の出口から外に出た。再開発された町は山側に広がったので、こっちはまだわずかに昔のオモ影<sup>11)</sup>が残っている。十分ほど歩けば、懐かしい海岸に出るはずだ。

今日からだな。

つぶやいて、さっきまでより少しだけ胸を張って、海へ向かって歩きだす。

今日から「晩年」が始まる。

俊治は、今日、余命三カ月の宣告を受けた。

(重松清『その日のまえに』)

問一 傍線部分(1)の「そう」とは何を指しているか。最も適当なものを一つ選び、マークしなさい。解答番号は 。

- ① バブル景気の頃にマンションの群れが建てられたこと
- ② 電車がオールステンレスになったこと
- ③ 冷房の風に当たっていると腰が痛くなってしまうこと
- ④ 海がちりりとも見えないこと
- ⑤ 三十年を超える月日の流れを素直に受け容れられないこと

問二 傍線部分(2)の「それ」とは何を指しているか。最も適当なものを一つ選び、マークしなさい。解答番号は 。

- ① 見えるはずがない海をあきらめること
- ② 月日の流れを受け容れること
- ③ 扇風機の風が回ってこないことを我慢すること
- ④ なにに対してもかわからない悔しさを乗りこえること
- ⑤ 電車が近代化して情緒がなくなっても昔に思いをはせること

問三 傍線部分(3)では「時間はたっぷりある」(以下、A)となつていますが、傍線部分(10)では「時間はあまりにも少なかった」

(以下、B)とある。AとBの意味のちがいについて、最も適当なものを一つ選び、マークしなさい。解答番号は 。

- ① Aは、帰宅まで時間があるという意味で、Bは、やらなければならない仕事をすべて終わらせるには時間が足りなすぎるという意味
- ② Aは、仕事を休職したので時間があるという意味で、Bは、それでも仕事の引き継ぎなどの残務があつて時間がないという意味
- ③ Aは、今日の夕方まで時間があるという意味で、Bは、余命が残り少ないという意味
- ④ Aは、今日の夕方まで時間があるという意味で、Bは、やらなければならない仕事をすべて終わらせるには時間が足りなすぎるという意味
- ⑤ Aは、仕事を休職したので時間があるという意味で、Bは、余命が残り少ないという意味

問四

- 傍線部分(4)の「自信はない」理由として、最も適当なものを一つ選び、マークしなさい。解答番号は 。
- ① 仕事をサボって海を見に来たのに、仕事をしてきたとうまく嘘をつけそうにないから
  - ② マンションが建っていて海が見えなかったのに、海が見えたとう嘘をつけそうにないから
  - ③ 久しぶりに故郷へ帰ったら電車や町が近代化されており、残念な気持ちを隠せないから
  - ④ 今日、余命宣告されて、呆然としてしまい、動揺を隠せないから
  - ⑤ 歳のせいで体が弱っていくことを日々実感しているのに、元気なふりをできそうにないから

問五

傍線部分(5)、(7)、(11)について、それぞれのカタカナを漢字に直す場合、同じ文字を含むものを一つ選び、マークしなさい。

解答番号は(5) 、(7) 、(11) 。

(5) カク悟

- ① カク認する
- ② 厳カクな父親
- ③ カク新的な政治
- ④ 味カクが鋭い
- ⑤ 資カクを取得する

(7) 単ジュン

- ① ジュン序を守る
- ② 水ジュンが高い
- ③ ジュン情な少年
- ④ 今月の下ジュン
- ⑤ 法律をジュン守する

(11) オモ影

- ① 感情をヒヨウ現する
- ② メン密な打ち合わせ
- ③ オモ惑がある
- ④ オモだった人びと
- ⑤ 驚いてメンくろう

問六 傍線部分(6)、(9)の言葉の意味内容として最も適切なものをそれぞれ一つ選び、マークしなさい。解答番号は(6)

(9)

(6) 「へたり込む」

- ① がっかりして肩を落とす
  - ② 気持ちを胸にしまい込む
  - ③ 深い闇のなかに崩れ落ちる
  - ④ 力が抜けて座り込む
  - ⑤ うまくできず失敗する
- (9) 「いじらしい」
- ① みじめである
  - ② 痛々しくてかわいそうだ
  - ③ 見ていて歯がゆくなる
  - ④ 弱々しくはかない
  - ⑤ どうにもできない

問七

- 傍線部分(8)の「重くのしかかってくる」理由として、最も適当なものを一つ選び、マークしなさい。解答番号は 。
- ① 医者と言ったとおり、確かに日に日に体が弱ってきていることは事実だと感じているから
  - ② 本で読んで、所詮は蟬の話だと思っていたことが、いま自分が置かれた現実の状況をあらわしているから
  - ③ 七年間も土のなかで自分自身を成長させても、地上に出るとわずか半月で死んでしまうことに悲哀を感じたから
  - ④ 子どもの頃に読んで、どうでもいいと思っていた蟬の寿命の話が、おとなになって本当に事実であることを知ったから
  - ⑤ 蟬が「幼虫」として土のなかですごす年月に対して、「成虫」となって地上に生きる年月があまりにも短いことにショックを受けたから

問八

- 傍線部分(12)のような気持ちになれた理由として、最も適当なものを一つ選び、マークしなさい。解答番号は 。
- ① さつきは見えなかった懐かしい海が近づいていることを実感して、うれしさとともに生きる勇気が少しわいてきたから
  - ② 蟬がわずか半月であっても「成虫」として生きるように、余命宣告された自分にもまだ「晩年」として生きる時間があると思えたから
  - ③ 医者から余命を告げられたことを妻や子どもたちにもうまく説明できるような気がしてきたから
  - ④ 駅のなかを抜けることで、見たかった海にようやく着くことができ、これからもがんばろうと思えてきたから
  - ⑤ 死期が近づいているのは確かだけれど、まだ三ヶ月も「余命」を生きることができると淡い希望をもつことができたから

三イ 次の文章を読み、後の問に答えなさい。

御堂関白、大堰川にて遊覧の時、<sup>(注1)</sup> 詩歌の舟をわかちて、おのおの<sup>(1)</sup> 堪能の人々を乗せられけるに、<sup>(注3)</sup> 四条大納言に仰せられてはく、「いづれの舟に乗らるべきや」。公任卿いはく、「和歌の舟に乗るべし」とて、乗られけり。

さて、よめる、

朝まだき嵐の山の寒ければ 散るもみぢ葉をきぬ人ぞなき<sup>(2)</sup>

のちにいはれるは、「いづれの舟に乗るべきぞ、と仰せられしこそ、心劣りせられしか」、また、「詩の舟に乗りて、これほどの詩を作りたらば、名はあげてまし」と後悔せられけり。

この歌、花山院、<sup>(5)</sup> 拾遺集を撰ばせ給ふ時、「もみぢの錦」とかへて入るべきよしを仰せられけるを、しかるべからざるよしを申されければ、もとのままにて入りにけり。

また、円融院の御時、大堰川逍遙の時、三舟に乗るともあり。

帥民部卿<sup>(注4)</sup> 経信卿、またこの人におとらざりけり。

白河院、西川<sup>(6)</sup> に行幸の時、詩、歌、管絃の三つの舟を浮かべて、その道々の人々をわかちて、乗せられけるに、<sup>(7)</sup> 経信卿、遅参のあひだ、ことのほかに御気色悪しかりけるほどに、<sup>(8)</sup> とばかり待たれて参りたりけるが、<sup>(9)</sup> 三事兼ねたる人にて、<sup>(10)</sup> 汀にひざまづきて、「やや、どの舟にまれ、寄せ候へ」といはれたりける、時にとりて、<sup>(11)</sup> いみじかりけり。<sup>(12)</sup> かくいはれむ料に遅参せられけるにこそ。

さて、管絃の舟に乗りて、詩歌を献せられたりけり。三つの舟に乗るとは、これなり。

(注1) 御堂関白 藤原道長

(注2) 大堰川 京都市右京区嵐山付近を流れる川。上流は保津川、下流は桂川という。平安時代以来、景勝地として著名

(注3) 四条大納言 藤原公任。詩歌・管絃をはじめ、諸道の才人として知られた

(注4) 経信卿 源経信。平安時代後期の歌人、詩歌管絃に長じた

問一 傍線部分(1)、(6)、(10)の意味・内容として最も適当なものはどれか。それぞれ一つを選び、マークしなさい。解答番号は

(1) 、(6) 、(10) 。

- (1) ① 興味のある ② 藤原氏一族 ③ 深くその道に通じている ④ 藤原道長の仲間 ⑤ 公卿
- (6) ① 上皇や法皇のお出かけ ② 天皇のお出かけ ③ 公卿のお出かけ ④ 川や湖に出かけること
- ⑤ 舟あそびのこと
- (10) ① とっさの振る舞い ② いじらしい ③ 才能がある ④ すばらしい ⑤ 丁寧である

問二 傍線部分(2)、(12)の文法的説明として、どれが最も適当か。それぞれ一つを選び、マークしなさい。解答番号は(2) 、

(12) 。

- ① 意志の助動詞の連体形 ② 尊敬の助動詞の連体形 ③ 完了の助動詞の終止形
- ④ 動詞の一部 ⑤ 打消の助動詞の連体形 ⑥ 推量の助動詞の終止形

問三 傍線部分(3)、(4)の解釈として、どれが最も適当か。それぞれ一つを選び、マークしなさい。解答番号は(3) 、

(4) 。

(3) ① 関白が遠慮された

② 自分が気弱になって自信がなくなった

③ 関白がおっしゃってもおそれなかった

④ おそれている場合ではないと思った

⑤ 十分に自信があった

(4) ① これほどの名をあげることができなかったことであろう

② 名をあげてほしかった

③ 有名にしてもらえるはずであった

④ 名を大いにあげていたことであろう

⑤ 関白に認めてもらえなかったことであろう

問四

傍線部分(5)、拾遺集とは何か。一つを選び、マークしなさい。解答番号は 。

① 花山院の歌集

② 花山院が書かれた歌論書

③ 私家集

④ 勅撰和歌集

⑤ 漢詩集

問五 藤原公任はどのような歌人として描かれているか。最も適当なものを一つ選び、マークしなさい。解答番号は 。

- ① 道長に声をかけられるなど、政治の有力者と結びついている歌人
- ② 和歌よりも漢詩が得意な歌人
- ③ 「散るもみぢ葉をきぬ人ぞなき」と詠うように風流な面もあるが自分の才能におぼれるような歌人
- ④ 嵐山をことに愛した歌人
- ⑤ 拾遺集入集の際に花山院の意見をも聞き入れないなど、自分の和歌には自信を持っている歌人

問六 傍線部分(7)、(8)、(9)の主語はどれか。最も適当なものをそれぞれ一つ選び、マークしなさい。解答番号は(7) 、

(8) 、(9) 。

- ① 舟の人々
- ② 女官
- ③ 白河院
- ④ この人(公任卿)
- ⑤ 経信卿

問七 傍線部分(11)はどのような気持のあらわれか。最も適当なものを一つ選び、マークしなさい。解答番号は 。

- ① いかにも三舟のことに慣れているかただと驚いている
- ② 出世するにはこのような気持がたいせつなのかとあきれている
- ③ どこでもいいと、人の指示に従う謙虚な人だと思っている
- ④ 自分勝手に、風流な遊びに合わない人だと思っている
- ⑤ 才能のある人の行動にただ感心している

問八 問題文の「三舟の才」あるいは「三舟に乗る」とはどのようなことであったか。最も適当なものを一つ選び、マークしな

さい。解答番号は 79。

- ① 歌合せのもとになったもので、特に和歌の競技場であった
- ② 皇室や棋関家が主催するもので、参加の人材集めがたいへんであった
- ③ 中国から伝わったものであるが、わが国では流行しなかった
- ④ 教養と趣味の豊かな人々の集まりで、いかにも王朝風な香りがするものであった
- ⑤ 当時の教養人のあそびで政治的に利用されることが多かった

三ウ 次の漢詩は「古詩十九首 十五」(『文選』所収)である。読んで後の問に答えなさい。(設問の關係上訓点を省いた部分がある)

生	年	不	滿	<input type="checkbox"/>
常	懷	千	歲	憂
昼	<input type="checkbox"/>	苦	夜	<input type="checkbox"/>
何	不	秉	燭	遊
為	樂	當	及	時
何	能	待	來	茲
愚	者	愛	惜	費
但	為	後	世	嗤
仙	人	王	子	喬
難	可	與	等	期

(注) 王子喬 周の靈王の太子晋のことで、仙人となって永遠の命を得たと伝えられる

問一 傍線部分(1)、(8)の意味として最も適当なものをそれぞれ一つ選び、マークしなさい。解答番号は(1) 84、(8) 85。

- (1) ① 若者      ② 青年期      ③ 誕生日      ④ 生きている年数      ⑤ 生まれた年
- (8) ① 来客      ② 古来      ③ 来年      ④ 未来      ⑤ 来世

問二 空欄(2)、(3)、(4)に入れる語として最も適当なものをそれぞれ一つ選び、マークしなさい。解答番号は(2) 86、

(3) 87、(4) 88。

- (2) ① 十      ② 百      ③ 千      ④ 万      ⑤ 億
- (3) ① 短      ② 早      ③ 明      ④ 暑      ⑤ 日
- (4) ① 月      ② 寒      ③ 暗      ④ 遅      ⑤ 長

問三 傍線部分(6)の訓読として最も適当なものを一つ選び、マークしなさい。解答番号は 89。

- ① ときにおよぶにあたる
- ② ときにおよぶべし
- ③ ときにおよばざるがごとし
- ④ まさにおよぶとき
- ⑤ まさにときにおよぶべし

問四 傍線部分(5)、(7)の用法として最も適当なものをそれぞれ一つ選び、マークしなさい(同じ解答番号を二度使用してもよ

い)。解答番号は(5) 90、(7) 91。

- ① 疑問      ② 使役      ③ 限定      ④ 選択      ⑤ 能動      ⑥ 反語      ⑦ 仮定

問五 傍線部分(9)、(12)の読みとして最も適当なものをそれぞれ一つ選び、マークしなさい。解答番号は(9)  92、(12)  93。

- (9) ① まさに ② たんに ③ すべからく ④ ただ ⑤ かつ  
(12) ① よ ② と ③ ともに ④ あたうるに ⑤ あたえるに

問六 傍線部分(10)の理由として最も適当なものを一つ選び、マークしなさい。解答番号は  94。

- ① 金を使うのを惜しんで、遊べる時に遊ばないから  
② 短い人生を充実して生きようとせず、遊びに夢中になっているから  
③ 不老長生の術を得ようとして、仙人修行にむだな労力を費やしているから  
④ 昼間まともに働いても、夜遊びですっかり金を使ってしまふから  
⑤ 老後に備えて、貯蓄しなかつたから

問七 傍線部分(11)の内容を示す説明として最も適当なものを一つ選び、マークしなさい。解答番号は  95。

- ① 沈む瀬もあれば浮かぶ瀬もあり  
② 禍を転じて福となす  
③ 果報は寝て待て  
④ そんな長寿は望めない  
⑤ 死んで花実が咲くものか

問八 次の詩句の中でこの詩の中心をなしているものはどれか、最も適当なものを一つ選び、マークしなさい。解答番号は

96。

- ① 常懷千歲憂
- ② 何不秉燭遊
- ③ 為樂當及時
- ④ 愚者愛惜費
- ⑤ 難可与等期

問九 次の文の中でこの詩の内容を最もよく表しているのはどれか、最も適当なものを一つ選び、マークしなさい。解答番号は

97。

- ① 千年も万年も生きられない人生であるのに、なぜくよくよと心配ばかりするのか
- ② 千年も万年も生きられない人生であるから、若い時によく働いて、子孫の安樂をはかるべきである
- ③ 短い人生であるから、楽しみはできるだけ晩年に取っておくのがよい
- ④ 短い人生であるから、仙人のように自由気ままに過ごし、できるだけ長生きをするのがよい
- ⑤ 短い人生であるから、くだらぬ心配をせず楽しい人生を送るのがよい

問十 このような詩形を何というか、最も適当なものを一つ選び、マークしなさい。解答番号は 98。

- ① 近体詩
- ② 五言古詩
- ③ 五言律詩
- ④ 五言絶句
- ⑤ 樂府